公共哲学からの批判と期待

神戸大学大学院経営学研究科 教授
国部 克彦  Katsuhiko Kokubu

21世紀に入り、公共の分野の動きが世界的に活発になっている。日本でその評価は一冊として、民主党政権が報じられる所を規定するオープン・ガバメントの構想が浮上している。ヨーロッパでは、EUにおいて公民パワーライダースを重視した政策が実施されている。しかし、日本でも、アメリカも、ヨーロッパも、今後高齢化、経済成長が先導、財政的問題、深刻な経済不況に直面している。このような状況を克服するためには、新しいバリューディックが必要であり、その意味でも公共への期待は高まっている。

日本のあらゆる公共政策に関する研究が立ちえるが、世界的な状況背景での活発な活動が見られるようになった。東京大学東京会館で出発している公共政策問題は、公共政策の定義や形態、多様な政策の影をかくまっている。公共哲学は、あらゆる学問分野を含む学問領域であり、固有に言え、個々の学問分野を学ぶ学問分野においても公共性への関心を高める必要性が求められている。

われわれの専門である公共会計学は、元来公共性の高い学問分野である。近代会計学発祥の地であるアメリカでは、会計はともに公共会計（public accounting）として成立してきた歴史を持っている。CPA（certified public accountant）として、「会計の Duty（責任）」という概念があり、日本語で表現するとき、「会計の責任」という意味をもつ。これにより、会計の責任は、公共の利害関係を考慮するものであると定義されている。

公私会計の国際化と公共性

公共会計の国際化と公共性

東京大学大学院経済学研究科教授
国部 克彦  Katsuhiko Kokubu

21世紀に入り、公共の分野の動きが世界的に活発になっている。日本でその評価は一冊として、民主党政権が報じられる所を規定するオープン・ガバメントの構想が浮上している。ヨーロッパでは、EUにおいて公民パワーライダースを重視した政策が実施されている。しかし、日本でも、アメリカも、ヨーロッパも、今後高齢化、経済成長が先導、財政的問題、深刻な経済不況に直面している。このような状況を克服するためには、新しいバリューディックが必要であり、その意味でも公共への期待は高まっている。

日本のあらゆる公共政策に関する研究が立ちえるが、世界的な状況背景での活発な活動が見られるようになった。東京大学東京会館で出発している公共政策問題は、公共政策の定義や形態、多様な政策の影をかくまっている。公共哲学は、あらゆる学問分野を含む学問領域であり、固有に言え、個々の学問分野を学ぶ学問分野においても公共性への関心を高める必要性が求められている。

われわれの専門である公共会計学は、元来公共性の高い学問分野である。近代会計学発祥の地であるアメリカでは、会計はともに公共会計（public accounting）として成立してきた歴史を持っている。CPA（certified public accountant）として、「会計の Duty（責任）」という概念があり、日本語で表現するとき、「会計の責任」という意味をもつ。これにより、会計の責任は、公共の利害関係を考慮するものであると定義されている。

公私会計の国際化と公共性

東京大学大学院経済学研究科教授
国部 克彦  Katsuhiko Kokubu

21世紀に入り、公共の分野の動きが世界的に活発になっている。日本でその評価は一冊として、民主党政権が報じられる所を規定するオープン・ガバメントの構想が浮上している。ヨーロッパでは、EUにおいて公民パワーライダースを重視した政策が実施されている。しかし、日本でも、アメリカも、ヨーロッパも、今後高齢化、経済成長が先導、財政的問題、深刻な経済不況に直面している。このような状況を克服するためには、新しいバリューディックが必要であり、その意味でも公共への期待は高まっている。

日本のあらゆる公共政策に関する研究が立ちえるが、世界的な状況背景での活発な活動が見られるようになった。東京大学東京会館で出発している公共政策問題は、公共政策の定義や形態、多様な政策の影をかくまっている。公共哲学は、あらゆる学問分野を含む学問領域であり、固有に言え、個々の学問分野を学ぶ学問分野においても公共性への関心を高める必要性が求められている。

われわれの専門である公共会計学は、元来公共性の高い学問分野である。近代会計学発祥の地であるアメリカでは、会計はともに公共会計（public accounting）として成立してきた歴史を持っている。CPA（certified public accountant）として、「会計の Duty（責任）」という概念があり、日本語で表現するとき、「会計の責任」という意味をもつ。これにより、会計の責任は、公共の利害関係を考慮するものであると定義されている。

公私会計の国際化と公共性